取扱説明書
※使用する前に必ずお読みください。

製品番号：92550

適合車種：TOYOTA SUPRA（SZ-R,RZ専用）
BMW Z4
（Mアダプティブサスペンション装着車専用）

適合型式：DB22, DB42 19/05−
HF30（G29）19/03−

□ごあいさつ
この度は、車高調整キット「BLITZ DAMPER ZZ−Rシリーズ」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
この取扱説明書は、お客様が本製品を安全に、正しく組み立て、装着し使用いただく為に、装着前ならびに
組み立て前に必ずお読みください。また、本製品をご使用になられている期間は、この取扱説明書を大切に保管し、
売却、譲渡の際は、本製品に添付してお渡しください。品質には万全を期しておりますが、誤ったご使用方法や
取り扱い（組み立て方法）によって受けられた損害や、改造、変造など行った製品を使用して受けられた損害について、
弊社は一切その責任を負うことが出来ませんので、あらかじめご了承ください。

必ず本書をご確認いただき、カスタマー登録・シリアルNo.登録をお願いいたします。カスタマー登録をされていない場合、保証期間内であっても
保証対象外になりますので、ご注意ください。

BLITZ
92550−061.202010
<table>
<thead>
<tr>
<th>注意</th>
<th>このラベルは、死亡または重傷を負うことに至る可能性がある危険状況を示しています。十分ご注意ください。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>警告</td>
<td>このラベルは、軽傷または中程度の傷害を負うことに至る可能性がある危険性、及び物的損害の可能性がある危険性を示しています。十分ご注意ください。</td>
</tr>
</tbody>
</table>

□はじめに確認してください！

「BLITZ DAMPER ZZ-Rシリーズ」車高調整式キットのショックアブソーバー、スプリング等は車種別（型式別）の専用設計品です。他社製品や適合外のパーツとは併用できませんので、装着に関しては十分に注意してください。

<table>
<thead>
<tr>
<th>注意</th>
<th>弊社サスペンションキットは、各車種（型式別）専用に設定されていますので、取り付ける前に、サスペンションキット検査箱の品番と装着車種が適合しているかどうかカタログにてご確認ください。</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>警告</td>
<td>弊社サスペンションキットは、各車種（型式別）専用に設定されています。適合車種以外への取り付けや改造、また加工は絶対に行わないでください。</td>
</tr>
<tr>
<td>警告</td>
<td>弊社サスペンションキットは、各車種（型式別）専用に前後・左右バランス等を考慮し開発されていますので、前後及び左右で異なったメーカーの物に交換するとバランスに狂いが生じ危険です。必ず同メーカー同ブランドの物で交換してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>弊社サスペンションキットは、左右寸法を合わせた状態で装着しておりますが、取り付ける前に、左右寸法が合っているか、各部締め付けを確認の上取り付けてください。</td>
</tr>
<tr>
<td>警告</td>
<td>弊社製品は性能及び耐久性の向上を目的として純正品よりも各部のサイズが大きく設計しております。タイヤ、ホイールサイズによっては、サスペンション本体に干渉する場合がありますので、必ず事前に確認し、十分にご注意ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>一般公道を走行する際は、その車の最低地上高が保安基準以上になる様に調整し、かつスプリングの遊びや、損傷、オイル漏れがないことを確認した上でご使用ください。尚、最低地上高に関する詳しい内容は所轄の陸運支局等にお問い合わせください。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>マフラーレーザーシート等によっては、法律で定めている車両の最低地上高を確保できない場合があります。最低地上高を確保していない状態で一般公道を走行すると、道路交通法によって処罰されます。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>2006年1月1日以降に生産された車両においては、前部霧灯（フォグランプ）の下線高さが地上より250mm以上になるよう調整してください。上記基準を確保していない状態で一般公道を走行すると、道路交通法によって処罰されます。詳しい内容は所轄の陸運局等にお問い合わせください。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>本製品を取り付けたことにより各装置の認識に使用されるレーダーやカメラ、センサー等の認識範囲がノーマル状態と異なり誤動作を起こす可能性も考えられます。各自動車メーカーの安全装備・衝突回避支援装置・運転支援装置装着車など誤動作の発生やそれに伴う事故などの損害について弊社はその責任を負うことができませんので、ご了承ください。</td>
</tr>
<tr>
<td>警告</td>
<td>製品の装着にあたっては取り付け作業者が責任を負う事になります。必ず本書をよく読み理解した上で作業を行ってください。特に分解整備についての技術や知識の無い方は故障や事故を未然に防ぐ為、専門の認証工場などで作業をおこなってください。</td>
</tr>
<tr>
<td>警告</td>
<td>作業上リフトアップ、ジャッキアップする際は必ず輪留めやリジェットラック等を使用し、特にブレーキまわりの分解作業は必ず整備資格を持った方が行ってください。尚、すべての脱着作業はメーカーの整備書を基本に行ってください。</td>
</tr>
<tr>
<td>注意</td>
<td>装着後しばらくは急激な操作を控え、定期的に車高・各部の緩み・オイル漏れ等を点検・確認し、適宜調整してください。</td>
</tr>
<tr>
<td>警告</td>
<td>製品の検査や修理の際、外した純正部品を一時的に使用していただく場合がございます。外した純正部品は、捨てずに保管することをお勧めいたします。</td>
</tr>
</tbody>
</table>
取り付け時の注意

警告
ショックアブソーバーassyの交換は、自動車メーカー発行の作業手順書（修理書）に従って、認証工場などに依頼して確実に作業を行ってください。

注意
走行後は、タイヤ、ホイール、ブレーキ、マフラー等が高温になっていますので、十分に冷えてから作業を行ってください。また、保護グローブ等を使用してください。

作業を行う場合、必ずメーカーの指定位置にてジャッキアップし、リジェットラック（ウマ）を使用してください。
ジャッキアップ時はエンジンを停止し、平坦な場所で行ってください。

注意
本製品を確実に取り付けるために、取り外す全ての部品の状態や位置を確認し、取り付け状態を覚えておいてください。また、取り外した部品に損傷やヘタリのある場合は新品と交換してください。
取り付けナットを外す際は、取り付け部からゴミや錆びを取り除いてください。また、ナットが堅く締め付けられている時は、潤滑剤等を吹き付け、プラスチックハンマー等でたたくと比較的簡単に取ることができます。無理に外すとネジ部を破損するのでご注意ください。

警告
本製品のネジ部は指示・注意のあるもの以外は全て右ネジになっています。
右回り時計回りで締め込み、左回り反時計回りで緩める方向にまわります。

警告
各部のボルト、ナットは「自動車メーカー発行の作業手順書（修理書）」に記載されている指定トルクでトルクレンチなどを使用し取り付けてください。

注意
取り外したショックアブソーバーとその取り付け部品は、新しいショックアブソーバーの取り付けが終了するまで、確認のため保管してください。

警告
ショックアブソーバーのビストロッドに工具等で傷付けないように注意して下さい。ビストロッドの傷は、オイル漏れ、作動不良の原因になります。

注意
下記のような行為はスプリングの「折損」、「ヘタリ」の原因となり、操縦安定性の悪化や操縦不能に陥る可能性があるため大変危険ですので、絶対に行わないでください。

●工具でスプリングを掴まないでください。
●ハンマー等で打たないで、ヤスリで削る等を行わないでください。
●落とすなど乱暴な取扱いはしないでください。
●スプリングを切断して使用しないでください。
●スプリングに永久变形を与えないでください。
●スプリングの塗装を剥がさないでください。
●スプリングに熱を加えなさいでください。（溶接、焼き付け塗装などの加熱）
●バンプストッパーの改造や取り外しをしないでください。

警告
車高を調整する場合は、ロアシートロックを専用スパナで緩め、ロアシートを上下させます。調整後はロアシートロックを専用スパナを使い確実にロックしてください。

取り付け後の注意

警告
取り付け後、各部品が正しく取り付けられているか確認してください。また、ショックアブソーバー、スプリング、スプリングシートが車体、タイヤ、ホイール等と走行時においても接触していないか確認してください。
干渉する場合は、購入先にご相談の上、干渉しないよう調整してください。

警告
走行前に法律で定められている最低地上高90mm以上（ホイールベースが3000mm以上の車両は最低地上高100mm以上）を確保しているか確認してください。2006年1月1日以降に生産された車両においては、前部罩（フロアランバ）の下線高さが地上より250mm以上を確保しているか確認してください。
スプリングの遊びがかからないか確認してください。

警告
車高調整による、車高変化にともない、ホイールアライメント（トー、キャンバー、キャスター）が変化するので、「自動車メーカー発行の作業手順書（修理書）」で指定されている値に調整してください。

警告
スプリングとスプリングシートがずれていないか確認してください。

注意
エンジンルーム内のロック調整ダイヤル部に水等がかかるないように日ごろのメンテナンスや洗車の際は十分に注意してください。
（ピストン内部に鎖が発生するとダイヤルが回転不良を起こし調整ができない場合があります。）

注意
最低地上高が確保されていない状態やスプリングに遊びがある状態で使用しているなど、車両が保安基準に抵触する状態で使用している場合、保証対象外となりますので十分に注意してください。
車高調整方法

車高調整は、平坦でかつ安全な場所で行ってください。
車両をジャッキアップさせ、リジットトラック（ウマ）で確実に固定し、タイヤを取り外してください。

■ ロアプラケットで車高調整をする場合

ロアシートは1回転で1.5mm移動します。

● プラケットロックシートを車高調整用レンチで
緩めてください。
● 車高調整用レンチを使用し、スプリングシートを回転させ
車高を調整します。
  このとき、右回転方向（スプリングシート上昇）が車高アップ、
  左回転方向（スプリングシート下降）が車高ダウンとなります。
● 車高の調整が終了したら、左右の車高を合わせてから
ロックシートを車高調整用レンチを使用して確実に
ロックしてください。
● 車高を上げるとき：ケース寸法を長くします。
  （ロアプラケットを緩める方向）
● 車高を下げるとき：ケース寸法を短くします。
  （ロアプラケットを締める方向）

■ スプリングシートで車高調整をする場合

● スプリングシートを車高調整用レンチで緩めてください。
● 車高調整用レンチを使用し、スプリングシートを
回転させ車高を調整します。
  このとき、右回転方向（スプリングシート上昇）が車高アップ、
  左回転方向（スプリングシート下降）が車高ダウンとなります。
● 車高の調整が終了したら、左右の車高を合わせてから
スプリングシートを車高調整用レンチを使用して確実に
ロックしてください。
● 車高を上げるとき：シート寸法を長くします。
  （スプリングセット長が短くなります。）
● 車高を下げるとき：シート寸法を短くします。
  （スプリングセット長が長くなります。）
※スプリングシートはスプリングに遊びがない範囲で
調整してください。

警告
走行前に法律で定められている最低地上高90mm以上（ホイールベースが3000mm以上の車両は
最低地上高100mm以上）を確保しているか確認してください。2006年1月1日以降に生産された
車両においては、前部霧灯（フォグランプ）の下線高さが地上より250mm以上を
確保しているか確認してください。スプリングの遊びがないか確認してください。
ショックアブソーバーがプラケット内に収まっていることを確認してください。
ストレートスペシエンションはショックアブソーバーがプラケット内に「80mm以上」
マルチリンクスペシエンションはショックアブソーバーがプラケット内に「25mm以上」
入っていることを確認してください。

警告
上記寸法以下での使用は危険ですので、絶対に使用しないでください。
マルチリンクスペシエンションのプラケットには上部から約25mmの位置に
穴が開いております。その穴からショックアブソーバーが見える状態で、
使用してください。

※最低地上高は、各車ご確認の上、車高を設定してください。
※グレード・車重重量・車両誤差の違いにより、車高が変化する場合があります。（±10mm位）
※フロントの車高を下げすぎますと、インナーフェンダーライナーに干渉する場合がありますのでご注意ください。
車高調整方法（リア別体式アジャスター）

車高調整は、平坦でかつ安全な場所で行ってください。
車両をジャッキアップさせ、リジットトラック（ウマ）で確実に固定し、タイヤを取り外してください。

■リア別体式アジャスターで車高調整をする場合

● 車両よりスプリングアジャスター部を取り外してください。

● 車高調整用レンチを使用し、スプリングシートを回転させ
車高を調整します。
このとき、右回転方向（スプリングシート上昇）が車高アップ、
左回転方向（スプリングシート下昇）が車高ダウンとなります。

● 車高の調整が終了したら、左右の車高を合わせてから
ロックシートを車高調整用レンチを使用して確実に
ロックしてください。

● 車高を上げるとき：シート寸法を短くします。
車高を下げるとき：シート寸法を長くします。

注意
リア別体式アジャスターは車両に取り付けた状態で調整を行わないでください。
スプリングにプリロードがかかりており、そのまま調整を行うとアジャスターネジ部を破損する場合があります。

注意
調整する際にネジ部のゴミなどを取り除いてから行ってください。
スプリングシートの動きが悪いまま調整を行うとネジ部を破損する場合があります。

注意
リア別体式アジャスターは車両により大きさや取り付け位置が上下異なります。
スプリングシート、ロックシートの形状に合わせた調整レンチを使用してください。
違うサイズの調整レンチを使用するとシートの破損につながります。

トップナット締付付け方法

ショックアブソーバートップナットは取り付け時にきちっと締まっているか
確認をお願いいたします。

● 減衰力調整ダイヤルをモンキーレンチ、スパナなどを使用し
取り外してください。

● トップナットにトルクレンチを入れてから、ショックアブソーバー上端に
六角部分を固定して、トップナットを締めつけてください。

● トップナット締付けトルクはサスペンション方式により変わるので、
車種別取り付け項目を参照して締め付けてください。

● トップナット締付け後減衰力調整ダイヤルを戻してください。
減衰力調整ダイヤルを戻した後、減衰力がずれていないか確認を
お願いします。

注意
トップナットが緩んでいると異音の原因になります。

注意
トップナットの増し締めは定期的に行ってくれください。

注意
減衰力調整ダイヤルは右回り（時計回り）で締め込み、左回り（反時計回り）で
緩める方向にまわります。

注意
トップナット締付け時、ショックアブソーバー、上端六角部分の破損に
ご注意ください。
破損すると修理ができないためシリンダー交換が必要になります。
### 減衰力調整方法

- 減衰力の調整はピストンロッド上端の調整ダイヤルを回すことにより行うことができます。
- 減衰力は32段の範囲で調整が可能です。
- ダイヤルを右に回転させて、止まったところが一番高い減衰力を発生します。ダイヤルを左に回すことに1.2, 3.4...と数段が増えている場合、止まったところが一番低い減衰力となります。
- 出荷時には減衰力を一番ハードなところから16段に設定して出荷しております。お好みに合わせて調整をお願いいたします。
- 調整の際は一番ハードな位置から一番ソフトな位置を基点として、調整してください。何段にしているかわからない場合、基点の位置に戻し、再度調整を行ってください。

#### 注意
- 調整ダイヤルは数値ごとにまるようになっており、途中半段は設定できないようになっています。
- 調整ダイヤル取り外しの際は、「トップアウト締め付け方法」ページを参照してください。
- 調整部分は精密なため、落としたり、傷をつけたりしないよう十分注意してください。
- アイテムによっては延長ケーブルを付属しております。スニーカーボードの下側など簡単に調整が行えない車両などで必要に応じて装着してください。
- 調整を行う際、車両によっては内装やリアシート、ショックASSYなどの取付外しが必要になる場合があります。

### キャンバー調整方法（キャンバー調整式ピロアッパーマウント）

- ピロポールアッパーマウントのボディと本体プレートをとめているネジを緩め、スライドさせて調整してください。
- 車体のイン侧へのスライドでネガティブ方向、車体のアウト側へのスライドでポジティブ方向へのキャンバーの調整が可能です。
- 調整に関しては、必ずアライメントテストを使用して調整してください。

#### 注意
- 調整用のネジが車体と干渉する場合は、干渉しない位置で固定して使用してください。
- 調整が終わったら、ネジを規定トルクでしっかりと固定してください。
  (締め付けトルク: 1.3～1.5kgf・m)

#### 警告
- 左右のキャンバー角は、必ず同一値に調整してください。
- キャンバー角を調整した場合、タイヤサイズやホイールオフセットによって、サスペンション本体に干渉する場合があります。購入先とよくご相談の上、干渉しないよう調整してください。
- 調整用ネジを緩め、調整する際は必ずジャッキアップした状態(GG状態)で行ってください。
- 着地状態(GG状態)で緩め、調整しようとするときネジにテンションがかかっており緩まず、無理に緩めようするとネジを破損させてしまう場合があります。
- キャンバー角の調整は自動車メーカーの推奨する基準値の範囲内で調整してください。
- 大幅な数値でのご使用は操縦安定性の悪化だけでなく、タイヤの偏磨耗を起こす原因になります。
- ピロボールアッパーマウントのキャンバー角調整ネジは規定トルクで4本均等にしっかりと固定してください。
下記規定トルクを参照し、トルクレンチを使用して必ず締め付け確認を行ってください。

■ストラットタイプ締め付けトルク

ショックアブソーバートップナット
60N・m (6.0kgf・m)

スプリングシート
50N・m (5.0kgf・m)

プラケットロックシート
120N・m (12.0kgf・m)

■ウィッシュボーンタイプ及びセパレートタイプ締め付けトルク

ショックアブソーバートップナット
ウィッシュボーンタイプ
50N・m (5.0kgf・m)

ショックアブソーバートップナット
セパレートタイプ
30N・m (3.1kgf・m)

スプリングシート
50N・m (5.0kgf・m)

プラケットロックシート
70N・m (7.0kgf・m)

⚠️ 注意
ショックアブソーバートップナット締め付けについては別ページ「トップナット締め付け方法」を参照して正しく締め付けを行ってください。

スプリングシート・プラケットロックシート締め付けには商品に同梱されているシート形状に合わせた調整レンチを使用してください。

違うサイズの調整レンチを使用すると締め付けトルク不足・シートの破損につながります。

車種別でトップナット締め付けトルクが上記と異なる場合があります。
その際は、フロント・リアの取り付けページに記載しているトルクで取り付けをしてください。

⚠️ 注意
プラケットロックシートは車両振動やステアリング動作(特にストラットタイプ)で緩みやすい傾向にあります。定期的に緩みなどないか確認をお願いいたします。シートに緩みがあると、走行時やステアリング操作時の異音の原因になります。
組み立て前に、サスペションキットの部品構成・内容物がそろっているか確認してください。不足や不具合があった場合は、必ず装着前に弊社までご連絡いただきますようお願いいたします。

<table>
<thead>
<tr>
<th>ショックASSY...F/R各2</th>
<th>フロント・リア用 × 2</th>
<th>取扱説明書一式...1</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>車高調整レンチ...2</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

| 取り付けナットM8...8   | ワッシャー...8         | キャンバー調整用六角レンチ...1 |

| リアショック用カラー...6 | タイラップ（250mm）...12 |

※イラストと現品の形状が異なる場合があります。ご了承ください。
フロントサスペンション取り付け

フロント左側(助手席側)取り付け状態
※キャンセラーの取り付け方法は、別売のキャンセラーキット内の取り扱い説明書を参照してください。

取り付け状態ナックル部分
※ワイヤーハーネス類をブラケットのスチールに固定してください

ナックルブラケット取り付けボルト・ナット
締め付け1回目: 56N・m (5.7kgf・m)
締め付け2回目: 90°増し※ナット側を締め付けてください

スタビリング取り付けナット
取り付けナット1ヶ所締め付け
締め付けトルク: 56N・m (5.7kgf・m)

作業時、ロアアームに固定されているレバライザーの破損に注意してください

アクセルレシジョン センサASSY取り付け
締め付けトルク: 9.0N・m (0.9kgf・m)
※ショックを車両に取り付ける前に、純正ショックから移倉して取り付けてください※取り付け時、ボルトは純正のボルトを使用してください。
フロントサスペンション取り付け

アッパーマウント取り付けナット
締め付けトルク：28N・m（2.8kgf・m）
※ナット取り付け時に、ナット付属のワッシャーを
先入れてからナットで締め付けてください。
※ビロアッパーアダプターはキャッチアダプター
に向くよう取り付けてください。

アッパーマウント上部樹脂カバー加工例
※写真は減衰ダイヤル上部に
Φ35の穴あけ加工を行いました。
リアスペンション取り付け

リア右側（運転席側）取り付け状態
上写真を参照し、スプリングを車両に取り付けてください

リアスプリング取り付け状態

リアスプリングアッパー側取り付け状態
※車両側のくぼみに、アジャスターでしっかりとまっすぐにしていることを確認してください。
※アッパーラバーがずれていないか確認してください

リアスプリングロア側取り付け状態
※車両側のでっぱりに、ロアスプリングシートとスプリングがしっかりまっているか確認してください

上写真を参照し、リアショックを車両に取り付けてください
※減衰力調整ダイヤルはアッパーマウント内部に設置されています
車両に取り付ける前に調整することをお勧めします
※ボディとリアショックアッパーの間に、キット付属のアッパープレートを入せて取り付けてください
リアサスペンション取り付け

リアショックアッパーマウント取り付けボルト
3ヶ所締め付け 締め付けトルク：28N・m(2.8kgf・m)
※ボルトは軸正を使用し、キット付属のカラーを間に入れて取り付けてください。
※減衰力はアッパーマウントのゴムキャップを外して調整可能です。
また、調整し終わったら必ずゴムキャップで締をしてください。

リアショッククロア取り付けボルト・ナット
1ヶ所締め付け
締め付け1回目：100N・m（10.2kgf・m）
締め付け2回目：90°増し
※締め付け時はナット側を締め付けてください。

リアアクナル取り付けボルト・ナット
1ヶ所締め付け
締め付け1回目：165N・m（16.8kgf・m）
締め付け2回目：90°増し
※締め付け時はナット側を締め付けてください。

ワイヤハーネス取り付け
※ワイヤハーネス類をステーに固定してください。
※ハーネスが突っ張らないようにステーの高さを調整して、
ステーのボルト・ナットを締め付けてください。
締め付けトルク：8.5N・m（0.8kgf・m）
Q：取り付けし走行したところ、カタカタ・コトコトと音がするのですが、商品の不良でしょうか？

A：商品に付属の取扱説明書を確認いただき、構成品品や取り付け注意事項を確認してください。 装着車両と取り付けた商品の品番が合っているかも確認してください。 純正部品を再使用する車両には、使用している純正部品（構成品）が正しいか確認してください。 次に、脱着時に緩めたボルト・ナットに緩みがないか締め付けを確認してください。

Q：取り付けし、締め付けも確認したがカタカタ・コトコトと音がするのですが、商品の不良でしょうか？

A：ピロアッパーマウント使用車種では、ショックアブソーバーの作動音が純正よりも伝わりやすく、 気になることがあります。ピロアッパーマウントを使用していない車種でも、ハイブリッド車やノーマルで 室内の静音性が高い車両では、ショックアブソーバーの（機動音）作動音が気になることがあります。 ショックアブソーバーの作動音以外で、徐々に音が大きくなくなったリステアリングのくらつきを感じる 場合には、検査する必要があるために弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

Q：取り付けっぱらぼく問題なかったが、カタカタ・コトコト音がし始めたのですが、異常でしょうか？

A：取り付け後のなじみや振動などで緩みが出る場合があります。
取り付け部の締め付け確認、ショックアブソーバーのトップナット、スプリングシート、ロックシートの 締め付け確認を行ってください。
特にフロントストラット式サスペンション車両では構造上ショックアブソーバートップナット、 ブラケットロックシートが緩みやすいため確認を行ってください。
ご自身で作業が困難な場合は、取り付け店または商品を購入された販売店様にご確認ください。

Q：取り付け後、走行しているとシュシュ・キュキュと音がするのですが、商品の不良でしょうか？

A：減衰力を調整していただき、同じように走行してください。減衰力をハード側（減衰力が高くなる方向）に 回して、音の出る頻度が少なくなった、音が小さくなるようであれば、ショックアブソーバーの作動音と思われます。 減衰力調整機構を備えている構造上、ショックアブソーバー内のオイルが細い路線を通るのでこのような作動音がする場合があります。
この音は製品の異常ではないので、そのままご使用いただいても問題ありません。
気になる場合には、取り付け店または商品を購入された販売店様にご相談いただくか、 弊社サポートセンターまでお問い合わせください。

Q：取り付け後、走行しているとギュギュッ・グッッシュと音がするのですが、商品の不良でしょうか？

A：車両サスペンション構成パーツのアーム類の付け根にはゴムブッシュが多く使用されております。
そのためそのゴムブッシュのねじれやひれにより走行時に音が出ることがあります。
症状改善のためにはショックアブソーバー取り付け時に、各アーム類のゴムブッシュ取り付け部の ボルト・ナットを1G状態（車両中にタイヤを付けて着地した時と同じく、サスペンションに荷重がかかっている 状態）で一度緩めてから再度締め付けることでねじれがなくなり解消することがあります。
Q：取扱説明書記載の基準車高にセットしたが、記載されている車高より下がってしまった（高くなった）のですか、商品の不良ですか？

A：取扱説明書記載の基準車高は弊社開発車両にて測定した実測値をもとにした基準値になります。取り付ける車両のエンジン・グレード・装着装備・タイヤ・ホイールサイズの違いや測定誤差、車両個体差により値が異なる場合があります。
車両装備や個体差により、同じセット長で組んだ場合でも左右で車高の違いが出る場合がありますが、製品の異常ではありません。
また、弊社出荷時よりショックアブソーバーのスプリングパネルレートを変更した場合にも車高が変化します。その場合にはケース寸法やシート寸法を変えて車高を調整してください。

Q：減衰力調整する際、ダイヤルが非常に硬いのですが、異常でしょうか？

A：ダイヤルを右回り（時計回り）に回していくとハード（減衰力が高）になり、左回り（反時計回り）に回すとソフト（減衰力が低）なります。一番高い（または一番低い）減衰力になるとダイヤルが回らなくな（止まる）なります。その状態でさらに回していくと、ショックアブソーバー内部のネジが損れダイヤルが回らなくなることがあります。
反対に回してもまわらない場合などは取り付け店または商品を購入された販売店様、弊社サポートセンターにご連絡ください。

Q：車高調整しようとしたが、ネジが回らないのですが、異常でしょうか？

A：ショックアブソーバーのネジ部が汚れている（砂やほこりが付着している）状態でシート、プラケットを回すと砂やほこりがネジ部に詰まりネジが損傷し回らなくなる場合があります。
ネジ部が汚れている場合にはブラシなどを使用して、ネジ部の汚れを落としてから調整を行ってください。

Q：ベアリング部分やシャフト部分はグリスアップしたほうがよいですか？

A：ベアリングやシャフト部分は潤滑油やグリスなどでのグリスアップは行わないでください。
グリスアップすると初めのうちは良いですが、使用していくと右写真のように砂利などのゴミがつくことにより動きが悪くなり、最悪の場合部品が破損することがあります。
潤滑油やオイルなどを使うと、調整部のネジ含めて、砂利などを取り除く清掃を定期的に行うことで長く使用することができます。
メンテナンス時に不明な点があれば取り付け店または商品を購入された販売店様、弊社サポートセンターにご連絡ください。
車高調整時の注意

警告
ジャッキアップは、必ず自動車メーカー指定の位置で行ってください。その際、エンジンは必ず停止してください。
走行前に法律で定められている最低地上高90mm以上(ホイールベースが3000mm以上の車両は最低地上高100mm以上)を確保しているか確認してください。2006年1月1日以降に生産された車両においては、前部霧灯(フォグランプ)の下線高さが地上より250mm以上を確保しているか確認してください。
スプリングの遊びがないか確認してください。
車高調整による、車高変化にともない、ホイールアライメント(トー、キャンバー、キャスター)が変化しますので、「自動車メーカー発行の作業手順書(修理書)」で指定されている値に調整してください。
左右の車高は必ず合わせてからご使用ください。左右の車高が違うとバランスが悪くなり、操縦安定性の悪化につながります。
付属品の車高調整用フックレンチは、強い力をかけると、変形しケガ等をする場合があります。
鰹や食事、締めすぎによって固着したロックシートを緩める場合は、無理をせず、販売店にご相談ください。
また、固着防止のために、装着後ロックシート周辺に、グリスまたは潤滑油等を塗布していただくことを、お薦めいたします。

取り扱い上の注意

警告
分解しないでください。
警告
熟したり、火中に投入しないでください。
警告
スクラップ、プレスなどでプレス・変形しないでください。
警告
廃棄時のガス抜き以外は、本体に穴をあけないでください。
警告
バンプラーやなどショックアブソーバー付属品は必ず使用してください。
(使用しないと、底付きし、バルブなどが破損し、ショックアブソーバーが機能しなくなります。)
ショックアブソーバー、ハニケータンク、シリナーは切り離さないでください。
警告
シリンダーとロアプラケットも分解することはできません。
無理矢理シリンダーとロアプラケットを分解すると、ガス・オイル流れが起こる場合がありますので、絶対行わないでください。

オーバーホールについて

■ オーバーホールについては、下記サポートセンターにお問い合わせください。

オーバーホールのご依頼の際は、現在装着されているショックアブソーバーのシリアルNo.の確認をお願いいたします。製品の仕様変更により付属部品が異なる場合があります。

お願い
■ ショックアブソーバーの交換は、認証整備工場などの資格のある専門店で行ってください。
■ ショックアブソーバーは、各用途に合わせて製作した消耗品です。
日常点検を行い、オイル漏れや取り付け部の緩み、ワッシャー、ゴムの劣化、損傷、走行時のビンチャ、ローリング、振動、異音などの症状が発生した場合は、そのまま走行せずに新品と交換してください。
■ 一般村普通の条件において使用された場合の、経年変化による外傷、機能上のクレームについては応じかねますので、あらかじめご承知ください。
また、違法改造車両(エンジン、駆動系、サスペンション、ショックアブソーバー本体の改造)もしくは上記日常点検を怠り発生した破損事故については弊社は一切の責任を負いません。

製品についてのご相談及びお問い合わせについて
http://www.blitz.co.jp/
□連絡先 株式会社プリッツ サポートセンター
□住 所 東京都西東京市新町4-7-6
□T E L 0422-60-2277
製品保証について

本製品は製品保証を設けております。
製品保証を受けるためには下記カスタマー登録が必要になります。

保証内容について

● 弊社の製品保証は、保証書に記載されたお客様、製品期間、走行距離、保証規定に基づいて、本製品が正常な使用状態で製造上の原因による故障が生じた場合には、弊社による製品の無償保証をお約束するものです。
従ってカスタマー登録完了後、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。また、いずれかひとつでも保証規定の免責事項に該当する場合は、保証期間内であっても保証対象外となりますので、予めご了承ください。
● 弊社は、印刷物の内容に万一を期しておりますが、万が一、印刷の誤りなどがあった場合には、弊社は一切の責任を負いかねますので、予めご了承ください。
● 弊社は必要とみなした場合に、予告なしに保証規定を改定する権利を有しています。当規定において保証内容の変更があった場合、改定後の保証内容に基づいて保証させていただきます。
● 本製品は原因で生じた損害（車両外状、その他の事故一切）や自動車が使用できなかったことによる損失などにつきましては一切の保証は致しかねます。また、それにより発生する全ての費用（修理工賃・関連作業工費・送料・関連して生じた直接および間接の損害）につきましても、弊社では一切責任を負いかねますので、予めご了承ください。

カスタマー登録について

お買い上げいただいたお客様に弊社規定に基づいた製品保証を提供させていただくために「カスタマー登録」をお願い致します。
下記WEBサイトよりオンライン上で簡単に登録が可能ですので、必ずご登録をお願い致します。
パソコンをお持ちでないお客様は弊社サポートセンター(0422-60-2277)までお問い合わせください。
尚、カスタマー登録をされていない場合、保証期間内であっても保証対象外になりますので、ご注意ください。

http://www.blitz.co.jp/support/registration/registration.html

株式会社ブリッツ（以下「当社」といいます）は、お客様からお預かりした個人情報の保護は極めて重要ということ認識しております。関係法令および規範に従い、以下の個人情報保護を定め確実な履行に努めてまいります。
● 当社では、お客様へのサービスの充実や製品の品質向上、また推進活動のため、必要な範囲でお客様の個人情報を収集することがあります。収集するにあたっては、出来るかぎり目的を限定し、お客様の同意を得た上で適切な方法で収集致します。
● 当社は、お客様の個人情報を、お客様の同意なしに業務委託以外の第三者に提供することはありません。ただし、法令により開示を求められた場合、又は裁判所・警察等の公的機関から開示を求められた場合はその限りではありません。
● お客様ご自身の申出があった場合、情報の開示・訂正・削除を速やかに行います。

シリアルNo.登録について

カスタマー登録時にシリアルNo.の登録もお願いいたします。
シリアルNo.は各キットのロアプラケットに貼られている製品シールの上部に貼らせております。（下写真参照）
フロント、リア、左右全て同じシリアルNo.です。車種によりロアプラケット形状が異なるため、シリアルNo.貼り付け位置が下写真の位置と異なる可能性がありますのでご了承ください。
車両に取り付けてしまうと見当たらない車種もあるので、取り付け前に確認のほどお願いいたします。
また、保証書にも同様のシリアルNo.がスタンプされているので同じシリアルNo.であるか確認をお願いします。
<table>
<thead>
<tr>
<th>商品名</th>
<th>備考</th>
<th>本体価格</th>
<th>コードNo.</th>
<th>フロント使用数</th>
<th>リア使用数</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 補修部品</td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 100mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92409</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 150mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92408</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 200mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92407</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 250mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92399</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 300mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92398</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 350mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,500</td>
<td>92397</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>DAMPER ZZ-R 減衰力延長ダイヤル 480mm</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥3,500</td>
<td>92396</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングシート ZZ-R 1枚</td>
<td>1枚</td>
<td>¥1,800</td>
<td>92403-001</td>
<td>2枚</td>
<td>2枚</td>
</tr>
<tr>
<td>ロックシート ZZ-R 1枚</td>
<td>1枚</td>
<td>¥1,800</td>
<td>92403-002</td>
<td>4枚</td>
<td>4枚</td>
</tr>
<tr>
<td>ベアリングスプリングアッパーシート ZZ-R</td>
<td>1枚</td>
<td>¥5,000</td>
<td>92403-003</td>
<td>2セット</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングアッパーシート ZZ-R</td>
<td>1枚</td>
<td>¥3,000</td>
<td>92403-004</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ロックシートφ44ショック用 ZZ-R 1枚</td>
<td>1枚</td>
<td>¥1,800</td>
<td>92403-005</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングシュフター MAZDA ZZ-R</td>
<td>1枚</td>
<td>¥3,000</td>
<td>92403-006</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スラストシート ZZ-R</td>
<td>1枚</td>
<td>¥500</td>
<td>92403-007</td>
<td>4枚</td>
<td>2枚</td>
</tr>
<tr>
<td>強化ギムスプリングアッパーシート/ベアリングセット ZZ-R</td>
<td>1セット</td>
<td>¥5,000</td>
<td>92403-008</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>強化ギムスプリングアッパーシート/ベアリングセット ZZ-R</td>
<td>1セット</td>
<td>¥5,000</td>
<td>92403-012</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>コニカルスプリングワッシャー ZZ-R</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,200</td>
<td>92403-009</td>
<td>2個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R フロント用</td>
<td>2本セット</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404</td>
<td>1セット</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R リアφ44ショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-001</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ63(62) MINIフロント用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-002</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ83.2(D82.3) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-003</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ88(D80) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-004</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ98(D100) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-005</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ109(D108) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-006</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ118(D120) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-007</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フックレンチ ZZ-R φ133(D132) リアショック用 1本</td>
<td>1本</td>
<td>¥2,000</td>
<td>92404-008</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>減衰力調整ダイヤル ZZ-R M12</td>
<td>1個（赤）</td>
<td>¥1,000</td>
<td>92405-M12</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>減衰力調整ダイヤル ZZ-R M10</td>
<td>1個（赤）</td>
<td>¥1,000</td>
<td>92405-M10</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>減衰力調整ダイヤル ZZ-R M14 BLACK</td>
<td>1個（黒）</td>
<td>¥1,000</td>
<td>92405-M14B</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>減衰力調整ダイヤル ZZ-R M12 BLACK</td>
<td>1個（黒）</td>
<td>¥1,000</td>
<td>92405-M12B</td>
<td>2個</td>
<td>2個</td>
</tr>
<tr>
<td>減衰力調整ダイヤル ZZ-R M10 BLACK</td>
<td>1個（黒）</td>
<td>¥1,000</td>
<td>92405-M10B</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>キャンパー調整ボルト ZZ-R M6×18</td>
<td>1個</td>
<td>¥350</td>
<td>92405-004</td>
<td>8個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フランジナット M8×P1.25</td>
<td>1個</td>
<td>¥350</td>
<td>92405-002</td>
<td>8個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>フランジナット M10×P1.25</td>
<td>1個</td>
<td>¥350</td>
<td>92405-003</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ビロードナット ZZ-R M12×P1.25</td>
<td>1個</td>
<td>¥500</td>
<td>92405-005</td>
<td>2個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ナイロンナット ZZ-R M12×P1.25 H15</td>
<td>1個</td>
<td>¥400</td>
<td>92405-006</td>
<td>2個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ナイロンナット ZZ-R M10×P1.25 H18</td>
<td>1個</td>
<td>¥400</td>
<td>92405-007</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ナイロンナット ZZ-R M10×P1.25 H10</td>
<td>1個</td>
<td>¥400</td>
<td>92405-008</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ダストブーツ ZZ-R φ22</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-009</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ダストブーツ ZZ-R φ20</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-010</td>
<td>2個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ダストブーツ ZZ-R φ12.5</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-011</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>バンプナット ZZ-R φ22</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-012</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>バンプナット ZZ-R φ20</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-013</td>
<td>2個</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>バンプナット ZZ-R φ12.5</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-014</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ダストブーツ ZZ-R φ14</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-015</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>ハンプナット ZZ-R φ14</td>
<td>1個</td>
<td>¥1,500</td>
<td>92405-016</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングサイレントラバーS</td>
<td>2個セット</td>
<td></td>
<td>92405-RBS</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングサイレントラバーS</td>
<td>2個セット</td>
<td></td>
<td>92405-RBM</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>スプリングサイレントラバーS</td>
<td>2個セット</td>
<td></td>
<td>92405-RBL</td>
<td></td>
<td></td>
</tr>
</tbody>
</table>

※使用数項目は本製品でフロント(左右)、リア(左右)に使用(同様)されている数量を表しております。
※商品ならびに価格は改良のため、予告なく変更する場合があります。また、上記の設定単位は予告なく販売を中止する場合があります。